

令和4年定期整備について

1. スケジュール

本年度は、当社の主力装置である第4エチレン製造装置の整備年にあたる大型定期整備年<sup>※</sup>です。関連する8施設も前後して停止し、整備に入りますので、期間としては2カ月弱におよぶ長期間となります。同装置の定期整備時期は、これまで春期に行っていましたが、この度より冬季に変更となります。春期はメンテナンス業界の人手不足のため実施が難しくなってきたためです。当社として初めての冬の定期整備となりますが、安全を第一に、事故や災害のない整備を目指します。

※定期整備：一般に石油化学の工場では装置が大型のため、各部分の温度や圧力が安定するまでに時間がかかります。したがって、安定した製品を作るために昼夜・曜日を問わず稼働しています。一方、すべての機械、設備がそうであるように、適宜整備が必要です。運転中も日常的に整備を実施していますが、定期的に装置を止めての大規模な整備工事を実施します。定期整備の周期は法定で定められており、原則1年に1回ですが、日常の管理体制が優れていると認められると周期が延長されます。なお、今回整備を行う第4エチレン製造装置は日本で初めて4年連続運転を達成したエチレンプラントです。

	12月	1月	2月	3月
定期整備期間		← 1/24		3/17 →
フレアースタックでの 燃焼量大の期間 (多少の前後あり)		1/22~29		3/15~3/19

2. お願い

1) 交通渋滞

例年、近隣地区の皆様にはたいへんご迷惑をおかけしています。工事期間中、多数の工事関係者が入構いたしますので、朝夕の通勤時間帯は国道16号線養老大橋を中心に交通渋滞が予想されます。時差出勤、自転車、バス通勤、相乗りの励行等、弊社として最大限の対策をとってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

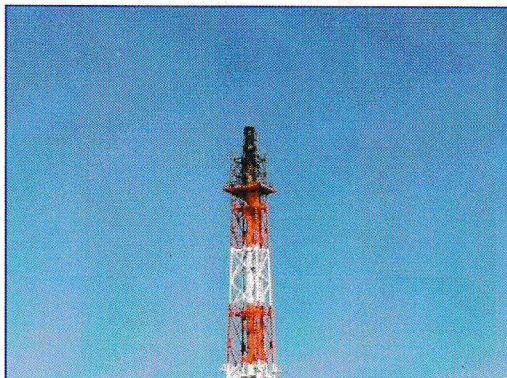
2) フレアースタックの燃焼について

石油精製、石油化学等、可燃性ガスを扱う工場には保安設備としてフレアースタックが設置されています。この設備は、プラント(製造装置)から出てくる余剰ガスを装置から十分安全な距離に設置した煙突(フレアースタック)の先端で燃やすことで無害化する設備です。

定期整備のプラント停止時やスタート時において、多量の余剰ガスが発生しますので、上記の期間において燃焼量が増えます。大きな火炎と音が発生いたしますが、異常事態ではありませんのでご理解をお願いいたします。

【 通常状態 】

パイロットバーナーの燃焼



【 プラント(製造装置)の稼動・停止時 】

火炎大

